

Ⅲ-11

大人と子どもとケータイ・スマホ

対象：学童期の子どもをもつ保護者（乳幼児期・思春期も可）  
時間：70分程度

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大人のケータイ・スマホの使い方について考えることで、ケータイ・スマホがある社会での子育ての難しさについて理解を深める。</li> <li>○ 言葉や表情を用いて人と直接関わり合うことの大切さとその基盤が家庭にあることを再認識する。</li> </ul>		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常生活の中で気になる大人のケータイ・スマホの使い方を話し合うことで、自分自身の使い方を考える。</li> <li>○ 家族の団らんや会話、コミュニケーションは、子どもの健やかな成長に欠かせないことを再認識し、自分の生活を振り返る。</li> </ul>		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時計 ○ 名札 ○ 筆記用具（サインペン・カラーペン） ○ 付せん紙 ○ 模造紙</li> <li>○ ワークシート ○ 資料 ○ 色丸シール</li> </ul>		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
<b>導入</b> 5～10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク(自己紹介)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和やかな雰囲気づくりをする。</li> <li>・4～5人のグループになる。</li> </ul>	名札
<b>展開</b> 10分	<b>ワーク1</b> ・ケータイ・スマホの良いところや便利な点を出し合う。	◎ケータイ・スマホのプラス面を出し合うことにより、参加者が難しい話題であるという先入観をもたないようにする。	ワークシート
10分	<b>ワーク2</b> ・エピソードを読む。(全体) ・感想を伝え合う。	◎親子の様子から、親としてスマホと子どもにどのように関わればよいか考えることのきっかけとする。 ・女の子の気持ちを考えることで、親としてどうすればよいのかを考える。	ワークシート
15分	<b>ワーク3</b> ・大人のケータイやスマホの使い方について話し合う。 ・付せん紙に記入する。 ・グループで話し合う。	◎身近な生活の中で気になる大人のケータイ・スマホの使い方について話し合うことで、自分自身の使い方について振り返ることをねらいとする。 ・気になることをあるだけ書き出す。意見が出にくい場合は、「街で」「電車で」「レストランで」「学校で」「家庭で」「職場で」等、具体的な場面を挙げて補足する。 ・出た意見を全体の場で発表する。進行役は、「知らず知らずのうちに」「気になってはいるが」「忙しくてつい」などの言葉で受け止めながら聞き、強く否定したり、指導したりしないようにするが、周りや相手の気持ちを考えて行動することが大切であることを伝える。 ◎出た意見の中から、エピソードのように子育てに関するものについて取り上げ、ケータイ・スマホの普及により、当たり前のように感じる行動の中に、親子関係を希薄にしていることがあることに気づくことができるようにする。	付せん紙 模造紙 サインペン等
15分	<b>ワーク4</b> ・子育てについて振り返り、子どもと向き合って子育てをする方法を考える。 ・付せん紙に記入する。 ・グループで話し合う。	◎子どもと向き合って子育てをしていくために、どうすればよいかを考えることをねらいとする。 ・家族の団らんや会話、コミュニケーションをもつためにできそうなことを考える。 ・ケータイ・スマホを使わないという意見だけでなく、うまく利用した方法があることにも触れる。 ・意見を分類しながら模造紙に貼り、いくつかを全体で発表し共有する。 ※または、各グループの模造紙を見て回り、「いいねシール」を貼る。	付せん紙 模造紙 サインペン等 色丸シール ※いいねシール
3分	<b>資料紹介</b>	◎ケータイ・スマホを使うことが当たり前になった社会の中で、子どものコミュニケーション能力や心豊かな人間性を育てるために、親子の絆や親子のコミュニケーションが大切であることを、もう一度確認することをねらいとする。 ・資料①を配布し、読む。	資料①
<b>まとめ</b> 5分	<b>ふりかえり</b> ・感想を記入する。 ・感想を共有する。	◎学習についての感想を記入し、グループ内で発表し、実践への意欲を高める。 ・本日の学習を受けて、家庭や子どもとの関わりの中で実践してみたいことを書く。 ・子どもたちを取り巻く環境が変わっても、子どもの教育の基盤は家庭であり、親はしっかり子どもと向き合って子育てをしていくことは変わらないことだと伝える。 ・ケータイ・スマホのトラブルや危険性については、親としても常に学習して、最新の情報を得る必要があることを知らせる。 ・参考資料として資料②を配布する。時間があれば、説明をする。	ワークシート 資料②